

令和7年6月30日開催

石狩市教育委員会会議（6月定例会）資料

<議案>

議案第1号 石狩市指定文化財の指定について・・・・・・・・・・ P1～P3

<協議事項>

① 令和7年度教育委員会の点検・評価について（令和6年度実施分）・・・・別冊

<報告事項>

① 教職員研修「サマーセミナー」について・・・・・・・・・・ P4

② 石狩市教育委員会基礎データについて・・・・・・・・・・別冊

石 狩 市 教 育 委 員 会



令和 7年 6月 9日

石狩市教育委員会

教育長 佐々木 隆哉 様

石狩市文化財保護審議会

会長 三島 照子

「紅葉山33号遺跡出土の漆塗り弓（文様入り）」の市指定文化財指定に
ついて（答申）

令和6年6月3日付け石教文第14号で諮問された標記の件について、石狩市文化財保護条例第4条第2項、石狩市文化財保護条例施行規則第4条第4項第1号の規定に基づき、下記のとおり答申いたします。

記

1 答申

諮問の対象となった「紅葉山33号遺跡出土の漆塗り弓（文様入り）」については、その歴史的及び学術的な価値に鑑み、石狩市指定文化財として指定することは妥当と判断されます。

2 理由

当該資料は、続縄文文化前半期の墓に副葬された漆塗り弓です。全体に朱色の漆を塗り文様を描いて精巧に仕上げたもので、当時の儀礼内容を示す貴重なものです。特徴として、弓の木質部は消失していますが、残存した塗膜部分からは弓全体の各所にトゲ状突起のある渦巻文を基調とした文様帯が見られます。このような漆塗り弓の類例はほとんど知られておらず、今後、北海道・東北地域の続縄文文化を考える上で重要な手がかりになる可能性をもっています。

また、同時期は漆製品自体が少なく、縄文・続縄文文化を通じた北海道の先史漆文化の最終段階を示す希少な資料のなかの一つとして歴史的価値を有するとともに、漆製品としての製作技術や装飾技法・文様の特徴は、他地域との関わりを考察する上でも重要なものです。

以上のことから、当該資料は市指定文化財にふさわしいものと判断されます。

「紅葉山 33 号遺跡出土の漆塗り弓（文様入り）」の概要

1 名称

紅葉山 33 号遺跡出土の漆塗り弓（文様入り）

2 種別

有形文化財

3 員数

1 点

4 所有者・管理者

石狩市教育委員会

5 保管の所在地

石狩市弁天町 30 番地 4 いしかり砂丘の風資料館内

6 文化財の概要

(1) 由来

紅葉山 33 号遺跡は、石狩市花川南 6 条 5 丁目の花川南公園内に位置する続縄文文化前半期の墓地である。対象とする「漆塗り弓」は、1982 年に石狩町が実施した発掘調査により確認された 32 基の墓壇の一つ（GP-46）から出土した副葬品である。

(2) 大きさ

全長（現存部）105 cm、幅 3cm（※発掘現場の計測値）

(3) 帰属時期（年代）

続縄文文化前半期（弓の年代：約 2000 年前）

(4) 文化財の状態

4-1) 遺存状態

弓本体の木質部分は失われ土圧により扁平に潰れているが、弓全体に施された漆の塗膜が弓の形状をとどめた状態で残されている。

弓の表面に施された朱色の漆と各所に描かれた文様が色相とともに鮮やかに残されている。

4-2) 弓の形状・構造

・出土状況では緩やかな M 字状であるが、複数の折損部から本来の形状に歪みが生じているとみられる。

・樋とみられる溝状の痕跡がある。

（弓の木質部分に入れる細長い溝。塗膜の表面に痕跡が観察されたため、本資料が弓と推定される根拠となった。）

・弓の両端部の弓弭の構造は不明

4-3) 弓全体の色

朱色（残された漆の皮膜：外面が朱色、内面は黒色）

4-4) 装飾技法

・黒色および茶色により特徴的な渦巻文（巻き込みにトゲ状の突起がつく）を線描により施す。

- ・弓の11箇所にわたり幅3～5cmで細い糸を巻き付け、その上に漆をかけ、糸巻きした帯状部分に文様を描いたとみられる。
- ・文様の色合いには黒色と茶色の2色がみられ、その配色は弓の半ばから両端に向かい茶色と黒色に分かれている。図1の左側5箇所では茶色のみ、右側の5箇所では黒色のみを用いて描き、中央1箇所の文様では茶色・黒色の2色を用いて描いている。

(5) 保存処理の状態

保存処理は実施済。ポリエステル樹脂をアクリルケースに注ぎ、その中に弓を包埋した状態。弓の両面を観察することが可能である。

(6) 文化財としての価値

- ・紅葉山33号遺跡出土の漆塗り弓は、縄文文化前半期の墓から出土した副葬品である。全体に朱色の漆を塗り文様を描いて精巧に仕上げた「飾り弓」で、当時の儀礼内容を示す貴重な資料である。
- ・弓の木質部分は失われているが、表面に塗られた塗膜部分が残存し、全体の旧形状を復元できる状態で、加えて色相・文様も良好に残されている。特に、弓の各所に巻き込みにトゲ状突起のある渦巻文様を描く構図は、全国的にも大変希少な例である。
- ・縄文文化前半期の漆製品は数少ない（弓の年代：約2000年前）。北海道では、縄文文化後期から晩期初頭にかけて漆製品の最盛期を迎えるが、縄文文化晩期から縄文文化前半期にかけては衰退期を迎える。当該資料は縄文・縄文期を通じた北海道の漆文化の最終段階を示す資料の中のひとつとして歴史的価値を有するものである。
- ・当該資料に観察される漆製品の製作技術・装飾技法・文様の特徴は、縄文文化前半期の石狩地域と他地域との文化的関わりを考えるうえでも重要である。



写真1 紅葉山33号遺跡 墓壙(GP-46)から出土した「漆塗り弓(文様入り)」

左：全体 右：弓の文様 (画像：石狩町教育委員会1984)



図1 「漆塗り弓」の図 (画像：石狩町教育委員会1984別図)

令和7年度 石狩市教職員研修「サマーセミナー」 開催要項

1. 目的 石狩市の教育目標の達成及び市の歴史や文化、産業、福祉等の特色を学ぶことにより、専門的知識や実践的指導力など、教職員に求められる資質の向上を図る。

2. 主催 石狩市教育委員会

3. 期 日 令和7年8月20日（水） 1講座

4. 対 象 市内小中学校教職員（養護教諭、栄養教諭、事務職員、期限付教諭含む）

5. 受講案内・申込（予定）

①一次案内 6月13日（金）

②二次案内 6月27日（金）

③申込締切 7月14日（月） ※学校毎に取りまとめてメールで申込み

6. 受講料 無料

7. 日程・内容・会場・参加者

①日 程 12：40 受付開始

13：00～ 開会式

13：10～ 講演

14：50～ 閉会式

15：00 終了

②内 容 講演 演題：「スマートフォン依存改善プログラムについて（仮）」

講師：榎 浩平 氏（東北大学応用認知神経科学センター 助教）

③会 場 花川北コミュニティセンター ホール

④参加者 石狩市立学校 全教職員

8. その他

○駐車場に限りがあるため、乗り合わせにご協力ください。 ※学校ごとに台数を割当て

○参加前には、十分な健康観察を行い、発熱等の症状がある場合は、参加をご遠慮ください。

○欠席連絡先：石狩市教育委員会学校教育課 TEL72-3142 ※教頭が取りまとめて報告

○水分補給につきましては、各自でご用意願います。

○服装については、クールビズでの対応をお願いします。ただし、研修の場であることから軽装は避けるようお願いします。